

八百津町地域公共交通網形成計画の実施事業 現況報告について

資料3

基本方針	目標	実施事業	実施状況	説明
基本方針1 誰もが「使える」地域公共交通網をつくります	① 利便性の高い公共交通網の構築	①-1 バスの再編	○	1頁
		①-2 広域的なバスの運行	○	1頁
		①-3 鉄道駅との連携の維持・充実	△	1頁
		①-4 隣接市町が運行するバスとの連携	△	1頁
	② 情報提供による公共交通のわかりやすさの向上	②-1 公共交通マップや乗り案内チラシ等の作成	×	1頁
		②-2 インターネットの乗換案内等で検索対応	○	1頁
	③ 安心・安全で利用しやすい車両・施設の整備	③-1 低床バス等のバリアフリー化の推進	×	2頁
		③-2 バス待ち環境の改善	○	2頁
	④ まちづくりを踏まえた公共交通網の形成	④-1 既存バス以外の交通手段も意識したネットワークづくり	△	2頁
	⑤ 観光来訪者が利用しやすい公共交通網の形成	⑤-1 観光ルートの設定	×	2頁
		⑤-2 観光来訪者への公共交通PR	○	2頁
		⑤-3 観光シャトルタクシーの充実	○	2頁
	基本方針2 将来に渡って「維持できる」地域公共交通網をつくります	⑥ 公共交通の利用促進	⑥-1 高校入学予定者への公共交通利用案内	○
⑥-2 バスの試乗会の実施、お試し乗車券の配布やイベントでの公共交通PR			×	3頁
⑥-3 免許返納者への利用促進策の実施			○	3頁
⑥-4 ノーカーデーの実施			×	3頁
⑦ 運行経費の削減		⑦-1 運行コストの削減	○	3頁
⑧ 適切な料金体系の確立		⑧-1 料金体系の見直し	×	3頁
		⑧-2 乗り継ぎ割引の実施	○	3頁
⑨ 運転手の確保		⑨-1 人材確保・育成・安全教育の支援	○	3頁
⑩ 収入の確保		⑩-1 有料広告掲載企業等の募集	△	3頁
基本方針3 みんなで「支える」地域公共交通網の仕組みをつくります		⑪ 地域で交通を考える・支える体制づくり	⑪-1 地域における交通協議会の設立	○
	⑫ 地域の商業施設等との連携	⑫-1 公共交通利用者への特典	×	4頁
		⑬ 福祉、教育、NPOなどとの連携	⑬-1 福祉と交通が連携した外出支援	×
	⑬ 福祉、教育、NPOなどとの連携	⑬-2 スクールバス活用に向けた取組	×	4頁
		⑬-3 学校でのバスの乗り方教室等の開催や校外学習での利用	×	4頁
		⑭ 地域、交通事業者、行政の連携、役割の明確化	⑭-1 八百津町地域公共交通協議会の継続的な開催	△
⑭-2 公共交通網形成計画のPDCA実施	△		4頁	
⑭-3 町民への公共交通利用の啓発	×		4頁	

実施事業	①-1 バスの再編
状況	令和2年10月1日より、東部の山間地域（久田見地区・福地地区・潮南地区・八百津地区北部東部）にて定時定路線で運行していたコミュニティバス802から、デマンド交通（市町村運営有償運送（交通空白輸送））に車両を5台整備し切り替えた。 本格運行を開始した令和3年4月1日からは、運行時間帯を午前6時から午後7時、ミーティングポイントを新たに42箇所追加し245箇所とした。また、土曜日に通院や部活動などで利用したい要望があり、令和4年8月20日より土曜日運行を開始し、産業文化祭等町イベントや選挙投票日は日曜日の運行も開始した。

実施事業	①-2 広域的なバスの運行
状況	YAOバス（発着・八百津FC～明智駅）は、八百津高校生が利用しない夏冬休みは「八百津高校」は停車せず運行している。 東鉄八百津線（発着・八百津FC～美濃太田）は、事業者より廃線の申し出があったが、事業者と協議ののち令和3年4月1日以降も運行を継続した。

実施事業	①-3 鉄道駅との連携の維持・充実
状況	名鉄（明智駅）、JR（美濃太田駅）のダイヤ改正に合わせ、YAOバス・東鉄八百津線ともに時刻表を変更している。可児駅・新可児駅への乗り入れは行っていない。

実施事業	①-4 隣接市町が運行するバスとの連携
状況	美濃加茂市のあい愛バスは、乗り継ぎ連携できていない。可児市のさつきバスと川辺町の有償福祉バスは、同じ場所に停留所があり乗り継ぎ可能だが、他市町村が運営しているバスの時刻表まで把握できていない。今後は、乗り継ぎ可能なバス等の時刻表を車両や直近の停留所に設置し、待ち時間や徒歩移動など状況によっては乗り継ぎが可能であるという情報PRを実施していく。

実施事業	②-1 公共交通マップや乗り案内チラシ等の作成
状況	バスの時刻表や料金、シャトルタクシーの利用方法など町HPに掲載。また、公共交通マップを主要な施設とデマンド車両に設置。

実施事業	②-2 インターネットの乗換案内等で検索対応
状況	バス情報フォーマット（GTFS）を作成し、経路検索事業者に提供した。インターネット上で検索可能。

実施事業	③-1 低床バス等のバリアフリー化の推進
状況	バリアフリー化車両未導入。次期車両更新時に検討。

実施事業	③-2 バス待ち環境の改善
状況	ファミリーセンターバス停に公衆トイレ、ベンチを設置した。またバス待ち合い所内に駐輪所を設置した。

実施事業	④-1 既存バス以外の交通手段も意識したネットワークづくり
状況	八百津町地域公共交通協議会を設置し、委員にNPOや社会福祉協議会、交通事業者を任命し、情報交換を行っている。

実施事業	⑤-1 観光ルートの設定
状況	無料の観光シャトルタクシーを土日祝日に運行し、八百津FC～杉原千畝記念館～八百津本町を結んでいる。

実施事業	⑤-2 観光来訪者への公共交通PR
状況	杉原千畝記念館HPにアクセス方法を掲載。また、外国人観光客向けに英語バージョンも掲載。

実施事業	⑤-3 観光シャトルタクシーの充実
状況	利用者数が少なく、運行時より路線変更していない。令和5年4月にGTFS対応。

実施事業	⑥-1 高校入学予定者への公共交通利用案内
状況	バス時刻表を町で作成、東濃鉄道(株)が配布。

実施事業	⑥-2 バスの試乗会の実施、お試し乗車券の配布やイベントでの公共交通PR
状況	未着手。

実施事業	⑥-3 免許返納者への利用促進策の実施
状況	令和5年4月1日より、免許返納者に対し公共交通機関利用券20,000円分を交付。東部デマンド交通（東部やおまる）・西部コミュニティバス（西部やおまる）で使用することができる乗車回数券、YAOバス・東濃鉄道バスで使用することができる普通回数乗車券を提供している。令和5年8月15日現在実績13人。

実施事業	⑥-4 ノーカーダーの実施
状況	未実施。

実施事業	⑦-1 運行コストの削減
状況	以前の定時定路線のコミュバス802時と比べて、西部地区の車両小型化、東部地区のデマンド化で年間の運行経費が減少した。令和元年度と令和4年度を比較すると△238万円。

実施事業	⑧-1 料金体系の見直し
状況	未実施。

実施事業	⑧-2 乗り継ぎ割引の実施
状況	東部やおまると西部やおまるに乗り継ぎをする際は、割引（100円）を実施。

実施事業	⑨-1 人材確保・育成・安全教育の支援
状況	未実施。

実施事業	⑩-1 有料広告掲載企業等の募集
状況	自主運行バスに掲載できるよう令和3年1月1日に取扱要綱を改正した。掲載の実績は無い。

実施事業	⑪－１ 地域における交通協議会の設立
状 況	東部やおまるの運行エリアの久田見地区、潮南地区において設立。

実施事業	⑫－１ 公共交通利用者への特典
状 況	未実施。

実施事業	⑬－１ 福祉と交通が連携した外出支援
状 況	未実施。

実施事業	⑬－２ スクールバス活用に向けた取組
状 況	未実施。

実施事業	⑬－３ 学校でのバスの乗り方教室等の開催や校外学習での利用
状 況	未実施。

実施事業	⑭－１ 八百津町地域公共交通協議会の継続的な開催
状 況	2019年度 2回開催 2020年度 2回開催 2021年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、未開催。 2022年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、未開催。 2023年度 2回開催予定

実施事業	⑭－２ 公共交通網形成計画のPDCA実施
状 況	資料No.3にて事業の現況を報告。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、事業によっては実施が困難だった。今後の計画期間内においても、着手が困難な事業については、精査を行う。

実施事業	⑭－３ 町民への公共交通利用の啓発
状 況	未実施。